

2020年3月26日

住友生命保険相互会社

株式会社 SUBARU 向けのシンジケートローン 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」への参加について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、株式会社SUBARU向けのシンジケートローン「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下「本件」）に参加しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資であり、国連環境計画・金融イニシアティブが提唱したポジティブ・インパクト金融原則に即したものです。

本件にかかるインパクト評価は、アレンジャーおよびエージェントを務める三井住友信託銀行株式会社が実施しており、円貨建てのシンジケートローンとしては世界初の取組みとなります*。

住友生命は、持続可能な社会の実現および中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、本件への投資につきましても、その一環として行うものです。

今後も ESG 投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

<本件の概要>

アレンジャー／エージェント：三井住友信託銀行株式会社

借入人：株式会社 SUBARU

貸出人：当社を含む複数の金融機関

組成金額：総額 100 億円

※2020年3月26日付三井住友信託銀行株式会社のニュースリリース

(<https://www.smtb.jp/corporate/release/>) をご覧ください。

以上